

2019 年度事業報告

令和元年度 事業報告書

(期間：2019年4月1日から2020年3月31日まで)

法人の名称 特定非営利活動法人 ダイヤモンド・フォー・ピース

1 事業の成果

2019年度は、①啓発事業においては、日本語ウェブサイトの再構築や啓発チラシ、団体パンフレットの制作、映画日本語字幕の制作、映画感想文コンクールの開催など、様々な啓発ツールの開発・リニューアルに取り組むことができました。また、海外や日本で開催された国際会議に参加する機会も増え、当法人の活動を日本国内外の人々に啓発する機会が増えた。

②自立支援事業においては、対象村における採掘労働者の研修実施に加え、組合運営力強化に向けた取り組みを行った。

主な事業内容は以下のとおりである。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 啓発事業

ア オンライン（ウェブサイト、SNS、メールマガジン）啓発活動

・内 容

今年度は日本語ウェブサイトの再構築に取り組んだ。コンテンツの整理を行い、ユーザーがより情報を得やすくなるサイトの再構成を行ない、2019年12月に新サイトをリリースした。昨年度再構築した英語ウェブサイトとの統一性のあるものとなった。日本語ウェブサイト、英語ウェブサイト共に、定期的に記事を投稿し、魅力あるサイト構成による啓発効果の向上に取り組んだ。

SNSではFacebookページの運営を引き続き行った。広告出稿により、ファンの数が増加した。

- ・従事者人員 15人
- ・日時 2019年4月～2020年3月
- ・場所 当法人事務所
- ・受益対象者 当法人のウェブサイト、Facebookページ、Twitterアカウントにアクセスする者およびメールマガジン受信者 のべ 65,473人
- ・支出額 293,262円

オンラインの媒体	投稿数/配信数	リーチ数（訪問数）	ウェブサイト 閲覧数(PV)数
日本語ウェブサイト	26	2,2796	44,984
英語ウェブサイト	15	7,680	13,426
Facebook ページ	53	29,614	
Twitter	1	621	
メールマガジン	12	4,762（のべ購読者数）	
合計	107	65,473	58,410



手掘りダイヤモンド採掘労働者自立支援

リニューアルした日本語ウェブサイトのトップページ

イ 講演・講義活動

・内容

2019年度は、日本国内及び海外で講演の機会を得た。大学生から大人まで幅広い層に対して講義・講演を行った。エで後述する日本語字幕付映画を大学の講義でも用いることで、現状の理解を促進させた。講義・講演の内容は、対象者及び主催者の意向により、ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、環境問題・保護などを取り上げた。当法人の活動や意義を日本人だけでなく英国や米国の人々にも伝えることができた。

・日時、場所

#	日付	講義・講演名	対象	会場	聴講者数
1	5月16日	「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ 採掘現場の声～」から	ファッションに興味のある大学生	青山学院大学	約150名
2	6月12日	同上	熱帯医学に興味のある大学生	東京女子医科大学	約50名
3	6月21日	同上	国際協力に興味のある大学生（ゼミ）	白百合女子大	約10名
4	6月21日	同上	大学生	白百合女子大	約30名
5	9月19日	Making Futures Conference “Upstream and Downstream Activities by Diamonds for Peace”	ファッションや造形の関係者	Plymouth College of Art (英国)	約10名
6	10月26日	Chicago Responsible Jewelry Conference “Upstream and Downstream Activities by Diamonds for Peace”	エシカルジュエリー業界関係者、宝飾原料の責任ある調達に興味がある人々	Colombia College Chicago (米国)	約100名
7	10月28日	“The Environmental and Social Impacts of Diamond Mining in Liberia”	環境保護に興味のある大学生（ゼミ）	デポール大学 (米国)	約30名
8	11月13日	“Hidden Cost of Diamonds”	国際協力に興味のある大学生（ゼミ）	青山学院大学	約5名
9	11月29日	社会地質学会環境シンポジウム 「鉱物サプライチェーン透明化に資するブロックチェーン活用の可能性」	鉱物、地質に興味のある人々	日本大学	約30名
小計					約415名

- ・従事者人員 のべ9名。
- ・受益対象者 ダイヤモンドに関する課題、サプライチェーンの課題、最新技術の導入、環境保護、国際協力に興味のある大学生及び社会人 約415名
- ・支出額 830,589円



東京女子医大での講義



宝飾原料の責任ある調達に関するカンファレンスでの発表

ウ. イベント、勉強会の開催

・内容 当法人の活動紹介・報告、ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発、エで後述する短編映画の上映を目的とするイベントを主催したほか、外部イベントに出展した。TICAD7では、アフリカ諸国からの多くの参加者が当団体のブースに立ち寄り、サイドイベントに参加した。当団体が取り組む課題への関心の高さを窺い知ることができた。

- ・日時 2019年6月～2020年2月
- ・場所 各イベント実施先
- ・従業者人員 12人
- ・受益対象者 イベント参加者、ブース来場者 約620名
- ・支出額 185,071円

◆ 当法人主催イベント

#	開催日	イベント名	内容	場所	参加人数
1	6月25日	上映会&トークセッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ 採掘現場の声～」の上映 ・映画およびダイヤモンドの課題の解説 	JICA市ヶ谷	約30名
2	7月20日	夏休み映画上映会	同上	JICA横浜	約10名
3	7月25日	夏休み映画上映会	同上	地球市民かながわプラザ	約10名
4	8月30日	TICAD7公式サイドイベント「西アフリカの手掘りダイヤモンド採掘に関するシンポジウム」	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ 採掘現場の声～」の上映 ・パネルディスカッション ・参加者との質疑応答 	パシフィコ横浜	約100名
5	9月15日	チャリティジャズライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動紹介 ・ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発 	香音里(東京)	約30名

			<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズライブ 		
6	12月14日	活動報告会及び映画感想文コンクール表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動紹介 ・映画感想文コンクール表彰式 ・グループディスカッション 	Eiji Press Lab (東京)	約30名
小計					210名

◆ 外部イベントへの出展

#	開催日	イベント名	内容	主催	参加人数・ブース来場者数
1	6月14日	“Know the Source of your Precious Jewelry”	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ採掘現場の声～」の上映 ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発 	東京外国語大学大学院生有志	約30名
1	8月2日	恵比寿ソーシャル映画祭	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ採掘現場の声～」の上映 ・ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発 	キャスレーコンサルティング株式会社 株式会社ピープルフォーカス・コンサルティング	約40名
2	8月24日	日本酒・果実酒を楽しみながら、ブラッドダイヤモンドを考えよう！	同上	ソーシャルスタンド	約30名
3	8月28日～30日	第7回アフリカ開発会議(TICAD7) ブース出展	<ul style="list-style-type: none"> ・団体活動紹介 ・写真、パネル等の展示 	外務省	約300名
4	2月15日	「よこはま国際フォーラム」セミナー実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ採掘現場の声～」の上映 ・ダイヤモンドを取り巻く課題についての啓発 	よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会	約10名
小計					410名



TICAD7 会場での当団体展示ブース



TICAD7 公式サイドイベント「西アフリカの手掘りダイヤモンド採掘に関するシンポジウム」でのパネルディスカッションの様子

エ 短編ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道」日本語字幕制作

・内 容

「Voices from the Mine」は西アフリカのシエラレオネ共和国における手掘りダイヤモンド採掘の現状を伝える短編映画である。当法人は、本映画の著作権者から許可を得て、昨年度より日本語字幕制作に

取り組み、2019年4月に完成した。日本語字幕付映画はオンラインにて公開すると共に、DVD化し教育機関を中心に配布した（下記オ.参照）。

- ・日 時 2019年4月～2019年5月
- ・場 所 当法人事務所等
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 生徒・学生、ダイヤモンドの（潜在）消費者、業界関係者 約1,000人
- ・支出額 32,258円

オ. 短編ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道」感想文コンクール、表彰イベント

・内容

日本ではほとんど知られていないアフリカの手掘りダイヤモンド採掘の実態を広く知ってもらうため、英バース大学が制作、2018年に公開した短編映画「ダイヤモンドの来た道 ～シエラレオネ 採掘現場の声～」(原題:「Voices from the Mine」、日本語字幕:ダイヤモンド・フォー・ピース)をオンライン、上映会(詳細は「ウ.イベント」を参照)、各学校や企業に送ったDVDで鑑賞してもらった上で、感想文を書くコンクールを開催した。教員向けに同映画を用いた授業例、生徒への配布資料、教員用詳細資料も作成し映画と共に提供した。感想文コンクールの応募者の多くがダイヤモンドの課題について調べ、どのように解決できると思うかを提案してくれた。

- ・日時 2019年4月(準備)～12月(表彰イベント)
- ・場所 感想文応募:郵送・オンライン、表彰イベント:Eiji Press Lab(東京)
- ・従事者人数 8人
- ・受益対象者 児童・生徒・学生、ダイヤモンドに関する課題などに興味のある社会人、教員 約6,000人
- ・支出額 328,434円

□ オンラインによる映画視聴

オンライン視聴 URL	https://vimeo.com/335148904/3b7a1120b1
視聴数(3月末現在)	990

□ DVD送付による映画視聴

種別	件数	視聴者数(概算)
中学・高校・フリースクール	24	3,192
大学・大学院・専門学校・高専	30	1,584
企業・NPO・団体	7	127
合計	61	4,903

□ コンクール応募数と入賞数

部門/賞	応募数	最優秀賞数	優秀賞数
小学生	3	1	2
中学生	5	1	2
高校生	121	1	2
大学生	235	1	3

大人	21	1	2
英語	11	1	2
合計	396	6	13

□ 特別賞

学校賞	7校
TICAD7 賞	1名

□ 審査員・協賛・後援

審査員	特定非営利活動法人 Alazi Dream Project 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 公益財団法人 五井平和財団 東京外国語大学 特定非営利活動法人 World Theater Project バース大学 (英国)	代表理事 下里 夢美 教授 伊藤武志 常務理事 川村 真妃 教授 伊勢崎賢治 理事長 教来石小織 ロイ・マコナシエ、 サイモン・ワーフ
協賛	一般財団法人 日本国際協力システム ザ・ボディショップ	
後援	JICA 横浜	
連携	第7回アフリカ開発会議横浜開催連携事業 (横浜市) TICAD7 パートナー事業 (外務省)	



表彰式で審査員の講評を聞く入賞者および関係者



感想文コンクールの賞状を手にした受賞者、審査員、当団体スタッフ



感想文コンクールチラシ (表)



映画 DVD ジャケット

カ 啓発ツールの開発、作成

・内 容

□ 啓発チラシ

昨年度参加した神奈川県主催、NPO サービスグラントが実施する「プロボノチャレンジ KANAGAWA 2018」にて作成した「ダイヤモンドを選ぶ時の3つのポイント」を再編集した。同チラシはダイヤモンドの購入を検討する際に、ジュエリーショップで客から店員に質問してほしい3つのポイントを紹介しており、当法人ウェブサイトにて公開した。

□ ニュースレター

当法人の(潜在)支援者やイベント参加者に活動や予定をよく知って頂く目的で、ニュースレター”The Journey”を発行した。同ニュースレターは英語と日本語の併記で、日本・海外の両方において広報啓発ツールとして活用した。第2号はリベリア国・ウィズア村にて採掘労働者を対象に行なっているチームビルディング研修の様子や国内で取り組んでいる啓発活動を紹介した。

□ 団体パンフレット

英文および和文の団体パンフレットのリニューアルを行った。団体の概要説明だけではなく、ダイヤモンド採掘を取り巻く課題の紹介や、「愛でつながるダイヤモンド (英文: Sourced with love)」を提案し、当法人のミッション達成につながるダイヤモンドの誕生の啓発も兼ねたパンフレットとなっている。パンフレットに使用した画像や内容は、ターゲット層にアピールするため、テストを重ねて決定した。

□ 啓発グッズ

当法人の活動を知ってもらう、意識してもらうツールとして缶バッジ、エコバックの作成を行ない、イベント等で配布・販売した。

□ 展示物の製作

採掘現場や採掘労働者が抱える課題を紹介する写真パネルを最近の内容に刷新した。国際会議など大規模な会議への参加も増加しているため、展示バナーの作成も行い、当法人の活動を伝えるツールの充実を計った。

- ・日 時 2019年4月~12月
- ・場 所 当法人事務所

- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 国内外で当法人の活動、ダイヤモンドの課題に関心のある人々 約1,000人
- ・支出額 379,649円

August 2019 DIAMONDS FOR PEACE

#2 August 2019

The Journey

Team Building Training Conducted in Weasua, Liberia
リベリアでチームビルディング研修を実施

リベリア共和国、ウヰズア村、スミスタウン村
ダイヤモンドの採掘権所有者、採掘労働者、現地関係者等

約1,000人

379,649円

SOURCED WITH LOVE.
BUY WITH LOVE.

英語パンフレット

探掘地からあなたへ
愛でつながるダイヤモンドを

日本語パンフレット

② 自立支援事業

ア チームビルディング研修開発、実施

リベリア共和国において、手掘りダイヤモンド採掘労働者たちの収入や生活環境を改善するため、組合組織運営を支援している。その一環として、組織として機能するための基礎的能力(チームとしてのコミュニケーション方法、信頼関係の構築等)を身につけることを目的にチームビルディング研修を2村にて実施した。

チームビルディング研修は2日間に渡り開催し、最終日には活動計画書の作成と参加者へ修了証書を授与した。

- ・日時 2019年4月～7月
- ・場所 リベリア共和国 ウヰズア村、スミスタウン村
- ・従事人数 3人
- ・受益対象者 対象地の採掘権所有者、採掘労働者、現地関係者等
ウヰズア村:64名 スミスタウン村:61名
- ・支出額 248,695円



ウィズア村
トラスウォールゲームで信頼の大切さを学ぶ参加者



スミスタウン村
複数人によるノット（結び目）を、手を離さずにほどこくため、チーム内で議論しながら取り組む参加者

イ 採掘組合支援活動

・内容

リベリア共和国ウィズア村の採掘組合を対象に、組合を適切に運営するための能力強化に取り組んでいる。アで述べた研修以外に、以下の活動を実施した。

□ 組合の定期活動の促進

組合は定期ミーティングを開催し、組合及び組合員が抱える課題について検討することになっているが、定期ミーティングが定期的には開催されていない。開催予定、実際の開催の有無、ミーティングで協議した内容を確認し、定期ミーティングを定期的には開催するよう働きかけた。

□ 基本的な記録作成方法の指導

記録は組合の透明性の確保、組合内部及び外部への信頼の構築等に必須だが、識字率の低い対象地域では、記録をつける習慣がない。組合の入出金の記録、ミーティングの議事録など、記録作成のための基本方法を指導した。

□ 正式な組合資格を取るための準備支援

ウィズア村の組合は、リベリア共和国の組合開発庁から「プレ組合」としての資格を付与された。正式な組合資格を得るには、様々な条件を満たす必要がある。中でも組合員のみで完成させることが難しい事業計画書の策定を支援中である。

□ 組合活動のモニタリング

組合が計画している（実施している）活動をモニタリングし、問題が発生しそうな場合、予防策を提案するなどして、よい組合活動を実施できるよう支援した。

- ・日時 2019年4月～2020年3月
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 ウィズア村の組合員約50名及びその下部組織員約70名
- ・支出額 1,109,494円



組合指導部との打ち合わせ及び指導



下部組織員との打ち合わせ及び指導